

えいなん

弥富市立栄南小学校
 学校通信 No. 44
 令和5年10月23日



4年生校外学習（鍋田排水機場） 10月17日（火）

社会科の学習「自然災害から人々を守る活動」について学ぶために、鍋田南部排水機場に見学に行きました。海の水面の高さより低い住宅や建物を守るためにポンプで川の水を汲み上げて、水の高さを調整する施設だということを知りました。模型を使ってポンプのはたらきを体験したり、汲み上げた水からごみをどう処理したりしているか風船を使って学ぶことができました。排水機場の方々が、洪水から、私たちの暮らしを守るために仕事をしてくださっていることを学びました。



5年生「ある犬のおはなし」出前授業 10月20日（金）



以前道徳の授業で、岩田先生が「ある犬のおはなし」という本を使って道徳の授業をしました。その時に子どもたちが作ったメッセージカードがご縁で、「ある犬のおはなしプロジェクト」の代表の高瀬充花さんを講師にお招きして出前授業を行いました。

「ある犬のおはなしプロジェクト」とは、少しでも犬や猫の殺処分がなくなるようにと「ある犬のおはなし」の本を愛知県内の小中学校に教育委員会を通して寄贈する活動です。現在県内の小中学校1409校のうち814校に寄贈しました。弥富市には6月に寄贈され、その本を使って道徳の授業を行ったのです。

今回の出前授業では「犬や猫の殺処分が年間15,000頭ほど行われていること（1日に約40頭）」「猫の方が犬より多いこと」「殺処分される対象は野良猫・野良犬の他に、迷子の犬猫、ペットショップの売れ残り」など、現状を教えてくださいました。そのようなかわいそうな動物を減らすためには、

- ・終生飼うこと
- ・飼っている動物が迷子になったら、警察や保健所に行って探すこと
- ・避妊、去勢手術をすること
- ・保護された動物の里親になること

などの対応について、子どもたち同士で話し合わせながら、教えてくださいました。

子どもたちは「動物も人間も同じ命だから大切に」「自分の家で飼っている動物が迷子になったら絶対に探す」などの感想を高瀬さんに伝え、以前作ったメッセージカードを渡しました。高瀬さんは「宝物です」とおっしゃっていました。

